

0 様式 1

令和 8 年 9 月 14 日

倫 理 審 査 申 請 書

医療法人社団浅ノ川
金沢脳神経外科病院
倫理委員会 委員長 殿

所属・職名 リハビリテーション科
氏名 岡本 一也 (印)

下記のとおり、倫理審査をお願いしたく申請いたします。
なお、本件は、倫理委員会が承認し、これに基づく倫理委員会委員長からの指示・決定が通知された後に実施します。

記

課題名	当院褥瘡データの集積・解析するためのデータ収集
(1)	当院褥瘡データの集積と解析（日本褥瘡学会への発表を前提とする）
研究責任者	褥瘡委員会 委員長 岡本一也
概要	当院では褥瘡対策チーム（褥創委員会）があり、褥瘡回診など褥瘡治療、褥瘡発生防止など活動が行なわれている。褥瘡委員会では褥瘡発生や発生防止などのノウハウをすでに持っているが、それらを病院全体に知らせ、褥瘡に対する認識を高める必要がある。そこで、当院で持っている褥瘡データを集積し解析することにより今後の治療方針の決定や褥瘡初心者であっても治療方針を間違えないような治療指針・ガイドラインを作成する事を目標とした。 1) 研究の方法 診療録などより後方視的に臨床情報を収集する横断的調査。侵襲性なし、未承認薬などの使用なし、製薬企業などからの資金提供なし。 2) データは病院内で open とし、職員であれば誰でも使用できるものとする。データの管理は褥瘡委員会が行ない、委員長の許可を必要とする。 3) 集めるデータは、生活自立度 B・C ランク（寝たきり・準寝たきり）の入院患者数、入院患者数（院内発生者数、入院時褥瘡保持者数） 4) 褥瘡保有者に関する項目 疾患名（ICD・10 分類）、年齢（5 歳区分）、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡発生原因、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡病変の状態、 5) 使用している耐圧分散寝具・用具、体位変換時間、栄養状態、局所治療法、危険因子、褥瘡ハイリスク因子、発生関する因子、患者の転帰、医療関連機器褥瘡の発生部位・重症度、医療関連機器褥瘡の病変状態、発生に関与した医療関連機器、医療関連機器褥瘡の発生要因。

6) スケジュール 倫理審査承認後、調査を開始する。承諾後、オプトアウト期間 1 ヶ月を経て調査施設の担当者が施設データおよび褥瘡保有者のデータを調査する。オプトアウト期間中に参加拒否の申し出があった対象者は除外する。オプトアウトは病院ホームページで行なう。

7) 評価は記述統計を用いて行う。

8) 個人情報などは匿名化する。

以上